

## 招へい目的：「第一回畜産における温室効果ガスの制御と利用に関する国際会議(GGAA2001)」における講演

外国人研究者名：董 仁傑 Renjie Dong

国 籍：中華人民共和国

所属機関・職名：中国農業大学・助教授

外国人招へい申請者：梅津 一孝（畜産環境科学科助教授）

### 1. 目 的

2001年11月7日～11日の5日間、本学実行委員会とオーストラリアクイーンズランド大学の共催で帯広市十勝プラザを会場に「第一回畜産における温室効果ガスの制御と利用に関する国際会議」(The 1st International Conference on GREENHOUSE GASES AND ANIMAL AGRICULTURE, GGAA2001)が開催された。招聘者は本国際会議の招待講演者として講演を行った。本国際会議では、畜産に関わる温室効果ガスの中で、とくにメタンを重要と位置づけ、その制御技術とバイオマスエネルギーとしての積極的な利用技術について世界の研究者・技術者が協力して討議し、その成果を地球環境保全に資すると共に循環型社会の形成に寄与することを目的とした。

### 2. 期 間

平成13年11月7日～11月11日

### 3. 場 所

帯広市十勝プラザならびに帯広畜産大学

### 4. 内 容

本会議は、特別講演、口頭発表、ポスターセッションより構成された。同時に現地見学会および関係団体および民間企業が参加する「循環型農業見本市 in とかち」が開催された。また現地見学会と同一日に一般市民、農業者を対象とした「畜産における自然エネルギーとかちフォーラム」を開催した。

次の8セッションについて論文発表と討議が行われた。

セッション1 畜産業と温室効果ガス

セッション2 ルーメン内メタン細菌の制御

セッション3 家畜消化管からのメタン低減のための栄養学的制御

- セッション4 メタンガス低減のためのルーメンエコシステムのバイオエンジニアリング
- セッション5 バイオガスプラント
- セッション6 畜産廃棄物・有機性廃棄物のコンポスト化技術
- セッション7 畜産廃棄物・有機性廃棄物の土壌還元技術
- セッション8 バイオリサイクリングの関連技術

董 仁傑氏にはセッション5で「中国における嫌気性発酵の現状」と題して講演を頂いた。

これまでわが国においてもメタンの利用を含めた畜産廃棄物処理の国際会議が専門分野ごとに開催されているが、家畜の飼養管理から消化管発生メタンの制御及び排泄物発生メタンの利用まで一貫した総合管理技術に関する研究報告あるいは学術会議は世界的にも例がない。これらの技術構築のためには動物栄養学、微生物学、生化学、工学及びバイオエネルギー評価システムのための社会経済学分野まで幅広い研究分野の結集が必要であると考えられた。わが国の農畜産業の中心地十勝という場所において開催される環境問題の重要性と開催意義から本国際会議で得られる全ての成果を科学者・技術者にとどまらず、行政、農業関係者、一般市民全てに開放することを開催の趣旨とした。その結果、大きな反響を呼び、海外 21 カ国から論文の投稿と登録があった。登録者はフルレジストレーションが 156 名であったが、日割りの登録者を加えると参加登録者は 220 名に達した。また畜産における自然エネルギーとかちフォーラムには多数の一般市民、農業関係者を含む 320 名の参加があった。投稿論文数は基調講演 3 題、招待講演 29 題、一般講演 62 題（口頭 16、ポスター 46）であった。

本国際会議には重要な開催趣旨が 3 点あった。文字通り世界中の研究者・技術者が一堂に会すること、GGAA2001 が掲げる課題解決のために、全ての関連専門分野を結集させること、会議を全ての人に開放することである。このため、情報を世界中に発信すると共に、地域住民に対しても参加を呼びかけた。また専門分野を横断するテーマであったことから、分科会の形を取らず、全体会議の形式をとった。これらの趣旨は全てほぼ理解され、国内はもとより海外からの参加者からも高い評価を得た。5 日間の会期中晴天にも恵まれ、「循環型農業見本市 in とちぎ」にも多数の人が訪れた。会議終了後、海外から多数のお礼のメールを受け取った。それらは十勝の自然と景観の印象を交え、会議の成功を讃えるものであった。十勝でこのような国際会議を主催できたことは会議場やロケーションのハード面ばかりでなく、開催地帯広市をはじめ、地域の人々の暖かいご支援に恵まれたお陰である。会議の成果は再編集され、Elsevier から単行本として出版の予定である。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださいました帯広畜産大学後援会に深謝致しますとともに関係各位に厚くお礼申し上げます。